



hvc
human health care

株主通信

2016年度第2四半期報告

エーザイ株式会社



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア症
制圧活動を支援しています。

株式に関するメモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(通話料無料) (平日 9:00～17:00 オペレーター対応)
上場証券取引所	東京(証券コード:4523)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.eisai.co.jp/fr/index.html ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社にて株式 をお持ちの場合	特別口座* の場合
住所変更	お取引のある証券 会社にお問い合わせ ください。	三菱UFJ信 託銀行にお 問い合わせ ください。
単元未満株式の 買取・買増請求		
配当金受取方法の変更		
未受領の配当金の 受取方法	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 TEL:0120-232-711 (通話料無料)	

*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていた株主様の株式は、当社が株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設して記録、管理しております。

株式に関するお問い合わせ先

エーザイ株式会社 総務・環境安全部 株式グループ
TEL:0120-501-217
(平日 9:00～17:00 通話料無料)

株式の状況

(2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	296,566,949株
うち自己株式数	10,505,045株
株主数	59,368名

大株主の状況

(2016年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	31,937	10.77
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	24,201	8.16
JP MORGAN CHASE BANK 385147	14,110	4.76
日本生命保険相互会社	12,281	4.14
株式会社埼玉りそな銀行	7,300	2.46
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理 サービス信託銀行株式会社	5,437	1.83
公益財団法人 内藤記念科学振興財団	4,207	1.42
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	4,162	1.40
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	3,778	1.27
資産管理サービス信託銀行 株式会社(証券投資信託口)	3,769	1.27

*持株数は切捨表示しております。
*持株比率は自己株式を含む発行済株式数に対する割合として算出してあります。
*自己株式10,505千株(3.54%)は、議決権がないため除いております。
*表中の株主名は、2016年9月末時点の株主名簿で確認できた名義のみ記載しております。

株主還元

配当については、健全なバランスシートをベースとして、連結業績、DOE*1およびフリー・キャッシュ・フロー等を勘案し、継続的・安定的に実施しています。自己株式の取得については、市場環境、資本効率等に鑑み、適宜実施する可能性があります。

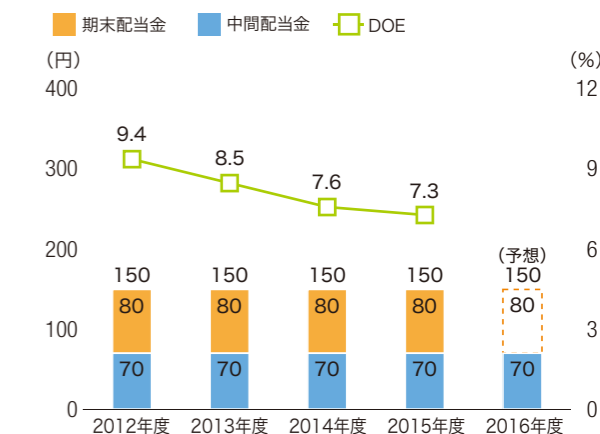
DOEは、株主様への利益配分を示す配当性向と、資本効率を示すROE*2の2つの要素から構成され、当社の掲げる株主価値の創造に資する指標です。また、株主資本に対する配当の比率を示すことから、バランスシートマネジメントを反映する指標となっています。

2016年度第2四半期の中間配当金は、1株当たり70円(前年同期と同額)とさせていただきます。なお、期末配当金は、80円(年間配当金150円)を見込んでいます。

*1 DOE(親会社所有者帰属持分配当率)
=配当金総額÷親会社の所有者に帰属する持分

*2 ROE(親会社所有者帰属持分当期利益率)
=親会社の所有者に帰属する当期利益÷親会社の所有者に帰属する持分

配当金およびDOEの推移



配当金の口座振込制度

配当金のお受け取りは、口座振込のご利用が便利です。口座振込をご指定いただけますと、配当金支払開始日にご指定の証券会社の口座や銀行口座に配当金をお支払いいたしますので、安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。

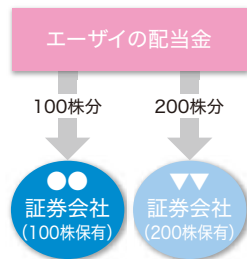


株式数比例配分方式

証券会社の口座で配当金をお受け取りいただけます。

メリット 配当金と保有株式を証券会社の口座で一元管理できます！

- 複数の証券会社で当社株式を保有している場合、証券会社ごとの保有株式数に応じた配当金がそれぞれの証券会社の口座に入金されます。
- NISA口座での保有株式の配当金を非課税とするためには、この方式をご利用いただく必要があります。
- 保有株式の一部が特別口座*に記録されている場合などには、この方式は選択できません。

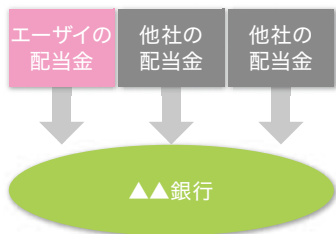


登録配当金受領口座方式

保有する全ての銘柄の配当金を、指定した1つの銀行口座でお受け取りいただけます。

メリット 全ての銘柄の配当金をまとめて管理できます！

- 1つの銘柄について振込先指定の手続きを行えば、自動的に他の銘柄の配当金も同一の銀行口座で受領できます。
- ゆうちょ銀行の貯金口座は指定できません。

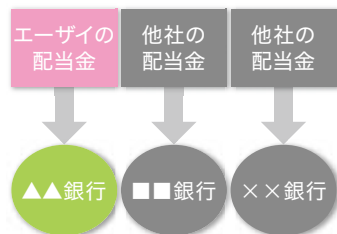


個別銘柄指定方式

保有する銘柄ごとに指定した銀行口座で配当金をお受け取りいただけます。

メリット 銘柄ごとに配当金の受領先を選択できます！

- 銘柄ごとに振込先指定の手続きが必要となります。
- 当社は、ゆうちょ銀行の貯金口座への振込指定も可能です。



<お問い合わせ先>

証券会社にて株式をお持ちの株主様
▶▶お取引のある(口座を開設されている)
証券会社

特別口座にて株式をお持ちの株主様
▶▶三菱UFJ信託銀行 証券代行部
0120-232-711(通話料無料)

*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていない株式は、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に当社が「特別口座」を開設して記録、管理しています。



株主の皆様には、日頃よりご指導、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2016年度第2四半期決算と経営の状況をご報告申し上げます。

代表執行役CEO

内藤 晴夫

▶売上収益は、抗がん剤「レンビマ」および抗てんかん剤「フィコンパ」が拡大するとともに、新たに連結子会社となったEAファーマ株式会社の貢献があった一方、日本における薬価改定や為替の影響により、全体では2,698億94百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

▶営業利益は、優先開発テーマへの積極投資を継続する一方、グローバルブランドの成長、オペレーションの高質化・効率化に加え、EAファーマ株式取得に伴う一時収益(割安購入益)計上により、385億90百万円(前年同期比113.5%増)、四半期利益は、295億77百万円(前年同期比165.6%増)となりました。

▶中間配当は、1株当たり70円(前年同期と同額)とさせていただきます。なお、期末配当金は、80円(年間配当金150円)を見込んでおります。

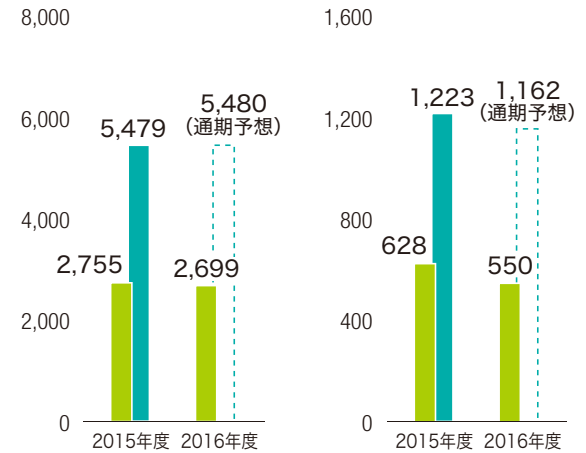
株主の皆様には、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第2四半期決算の概況【IFRS(国際会計基準)】

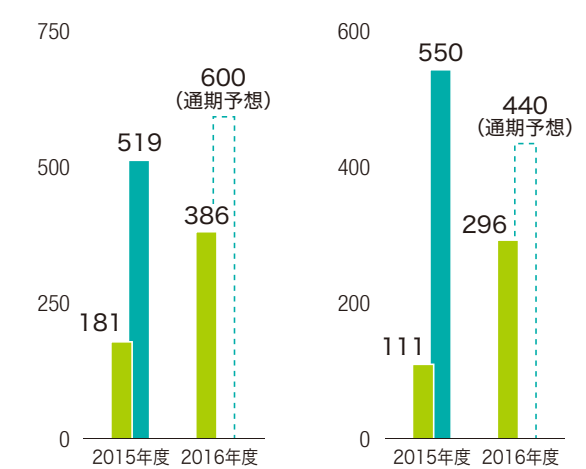
(数字は四捨五入表示)

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)

売上収益 (単位:億円) 研究開発費 (単位:億円)

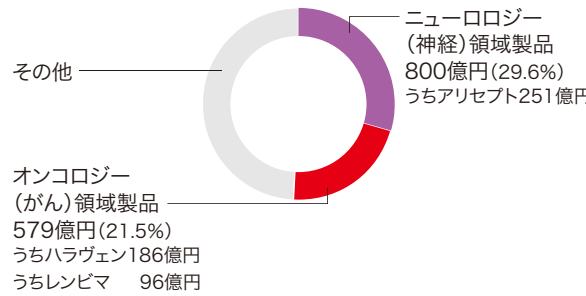


営業利益 (単位:億円) 四半期(当期)利益 (単位:億円)

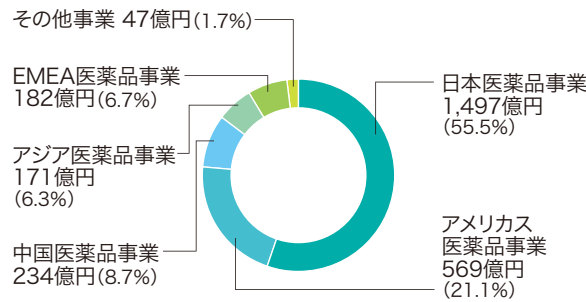


*本株主通信に記載されている予想および計画等は、さまざまな不確定要素(経済情勢、薬事制度、研究開発上のリスク、製造承認許可など)により変動するものであることをご了解願います。

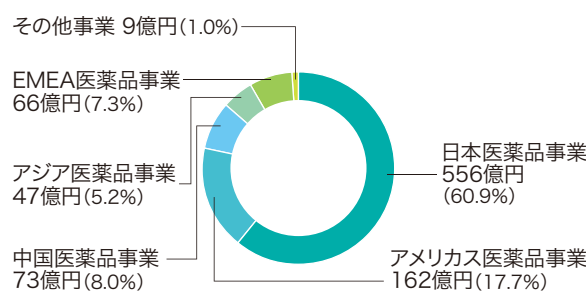
領域別売上収益 ()内は構成比



報告セグメント別売上収益 ()内は構成比



報告セグメント別利益 ()内は構成比



*研究開発費(550億円)、親会社の本社管理費等(71億円)および割安購入益等(94億円)は、報告セグメント別利益に配分しておりません。

開発品の状況

2016年4月以降、開発ステージに進捗があった開発品は以下のとおりです。(2016年10月末現在)

領域	製品名、開発品コード	剤形	概要	地域	開発状況			
					フェーズII	フェーズIII	申請	承認
神経	フィコンパ(E2007)	経口	抗てんかん剤/【剤形追加】経口懸濁液	米国				4月
			抗てんかん剤/【剤形追加】経口懸濁液	欧州				9月
			抗てんかん剤/【効能追加】部分てんかん単剤療法	米国				
			抗てんかん剤/【効能追加】レノックス・ガストー症候群	日米欧				
	E2006	経口	抗てんかん剤/【効能追加】てんかん小児適応	日米欧				
			不眠症治療剤/不眠障害*1	日米欧				
E2609	経口	不眠症治療剤/アルツハイマー型認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害*1	日米					
		アルツハイマー病治療剤/早期アルツハイマー病*2	米国					
		肥満症治療剤/【剤形追加】肥満症1日1回製剤	米国				7月	
がん	ハラヴェン(E7389)	注射	抗がん剤/【効能追加】悪性軟部腫瘍(脂肪肉腫)	欧州				5月
			抗がん剤/乳がん	中国				
			抗がん剤/HER2陰性乳がん(PEGPH20との併用療法*3)	米国	I/II			
E7080	経口	抗がん剤/【効能追加】腎細胞がん・セカンドライン	米国				5月	
		抗がん剤/【効能追加】腎細胞がん・ファーストライン	欧州				8月	
消化器	パリエット(E3810)	経口	プロトンポンプ阻害剤/【用法・用量追加】PPI抵抗性逆流性食道炎の維持療法における1回10mgの1日2回投与*4	日本				
			潰瘍性大腸炎治療剤/潰瘍性大腸炎*5	日本				
			潰瘍性大腸炎治療剤/潰瘍性大腸炎*6	日本				
その他	E6007	注射	ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体/【効能追加】非感染性ぶどう膜炎	日本				9月
			E6011	注射	抗フラクタルカイン抗体/関節リウマチ	日本		

*1 パーデュー・ファーマと共同開発 *2 バイオジェンと共同開発 *3 ハロザイム・セラピューティクスと共同開発
*4 EAファーマと共同開発 *5 EAファーマとキッセイ薬品の共同開発 *6 EAファーマが開発

▶レンバチニブ(日本製品名:レンビマ)の進行性腎細胞がんのフェーズIII試験を開始

2016年9月、自社創製の抗がん剤レンバチニブと抗がん剤エベロリムスまたは抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの2つの併用療法に関して、進行性腎細胞がんの一次治療を対象としたフェーズIII試験をグローバルに開始しました。これらの併用療法は、単剤投与に比較してより強い抗腫瘍活性が期待され、一日も早い承認取得をめざします。



▶認知症における安心・安全を届ける地域医療への貢献

2016年4月、認知症の予防、治療、ケアの実現に向けた新規薬剤の開発に加え、安心・安全を届ける地域医療に貢献するため、「認知症ソリューション事業*1」を立ち上げました。

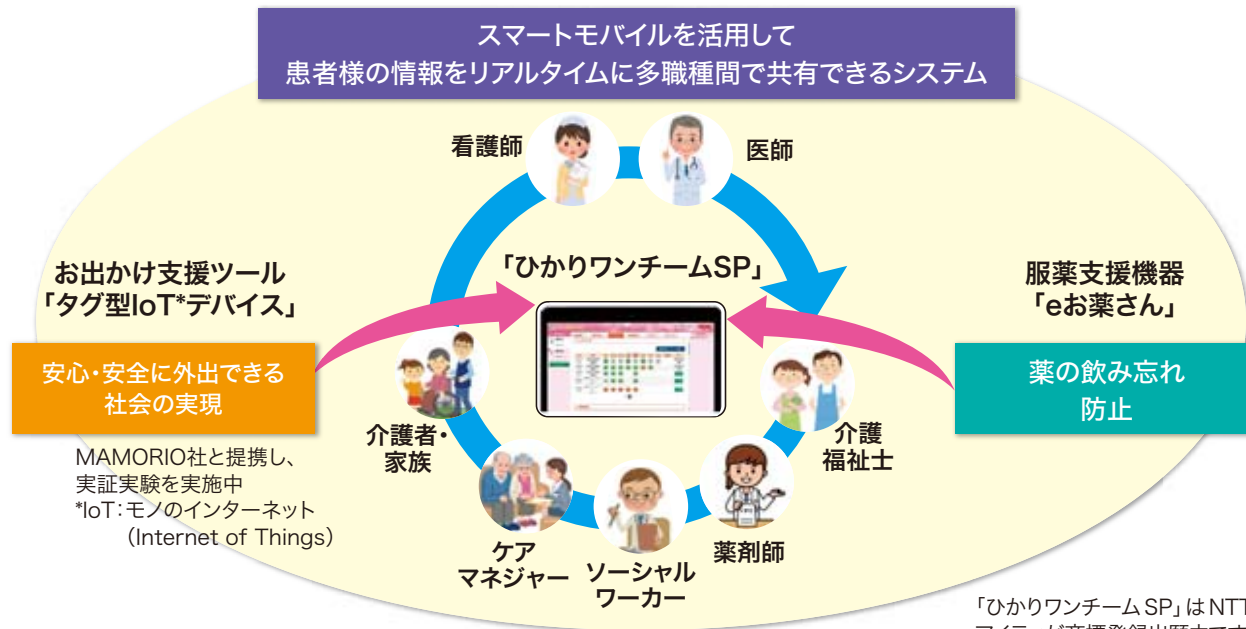
全国約65カ所の認知症連携協定先において、地域医療の担い手と連携して、自治体・地域住民へ認知症ソリューションを提供することで、認知症と共生する社会の実現への貢献をめざします。

2016年7月からは、「多職種連携サービス」を展開しました。患者様の介護には、介護者

や家族に加え、医師、看護師、薬剤師など多職種の密接な連携が必要です。当社ではこれを、携帯情報端末を活用し、リアルタイムの情報共有システムを提供していきます。このような多職種の方々からの様々なアドバイスにより、要介護度が改善することを期待しています。

また、「服薬支援機器」による薬の飲み忘れ防止、タグ型IoTデバイス*2を活用した「お出かけ支援ツール」による安全に外出できる社会の実現に貢献していきます。

*1 認知症に関する課題を分析し、解決策を提供する事業です。
*2 インターネットを通じて位置情報を知らせる小型の電波発信機器です。



認知症における安心・安全を届ける地域医療への貢献

「ひかりワンチームSP」はNTTアイティが商標登録出願中です。

▶個人株主説明会を開催

2016年10月、個人株主説明会を名古屋、大阪、福岡、広島で開催しました。

当社では、毎年東京で定時株主総会を開催していますので、東京以外の株主様を対象にしたコミュニケーションの場として、個人株主説明会を開催しています。

各会場では、総務担当の岡田専務執行役が「エーザイの事業概要と経営戦略」についてご説明した後、株主様からのご質問にお答えしました。主なご質問内容は、業績の見通し、株価と配当の見通し、為替変動による業績への影響、次世代アルツハイマー型認知症治療剤などの開発進捗状況などで、時節柄ノーベル賞受賞研究(オートファジーやiPS細胞)の創薬への応用についてのご質問もいただきました。

当社では株主様との対話を大切に考えており、今後も株主様とのコミュニケーションの場を設けてまいります。



個人株主説明会(名古屋会場)



次回の個人株主説明会は来年10月に実施する予定です。ご案内は来年8月頃を予定しています。